

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、国内の政治情勢に目立った変化は見られないものの、米利上げ観測の後退も手伝って、レアル売りポジションの巻き戻しが急速に進行している。取引開始直後こそ3.90台後半を付けたものの、引けにかけては一貫してレアル買いが優勢となり、3.78台半ばで取引を終えた。昨日公表されたFOMC議事録(9月16-17日開催分)において、ドル高によるインフレと輸出の抑制について議論されたことが明らかになったことも、マーケットのドル売りレアル買いを誘発した側面もあろう。議事録では、当局が9月利上げを見送った背景として、主に中国発の経済成長とインフレ見通しに対するリスクの高まりを挙げたことが確認された。また、「前回の会合以降に見られた経済動向によって委員会の景気見通しが大幅に変更されることはなかった」との見解で一致した模様。ただ、「委員会は景気見通しが悪化していないことを裏付ける追加情報を待つのが賢明であると判断した」と記述された。

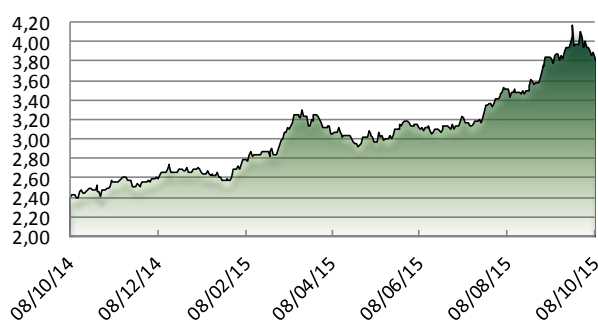
7日、ブラジル連邦会計検査院(TCU)が、ルセフ政権の2014年政府会計を承認しないとの判断を示したにも関わらず(今回の判断は、議会の反ルセフ勢力に大統領弾劾を要求する口実を与えると見られている)、レアルが一転して上昇する動きを見せている他、ボベスパ指数も前日比0.4%高と続伸。ここまでブラジル資産売りが急速なペースで進んできたこともあり、足許では調整色の強い動きとなっている。

マーケットデータ

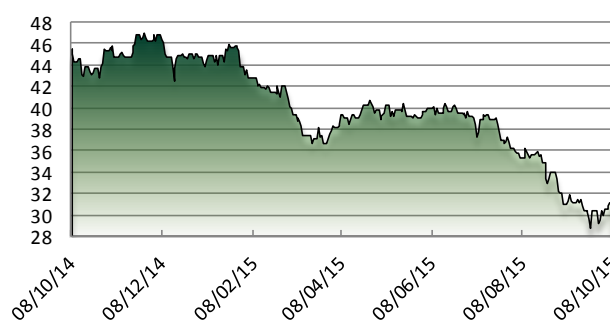
Indicator		Unit	10月7日	10月8日	前日比	9月8日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8862	3,7853	-0,1009	3,8208	-0,0355
	対円	JPY	30,88	31,69	+0,81	31,36	+0,33
	対ユーロ	BRL	4,3672	4,2689	-0,0983	4,2808	-0,0119
円	対ドル	JPY	120,01	119,93	-0,0800	119,81	+0,1200
	対ユーロ	JPY	134,86	135,24	+0,38	134,22	+1,02
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	48.914	49.107	+193	46.762	+2.345
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	429,5	416,3	-13,2	374,8	+41,5
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,56	15,37	-0,19	14,98	+0,39
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,48	15,23	-0,25	14,86	+0,37
3 Months US Dollar Libor		%	0,319	0,319	+0,000	0,332	-0,013
CRB Index (国際商品指数)		Index	199,6	201,3	+1,7	198,4	+2,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。